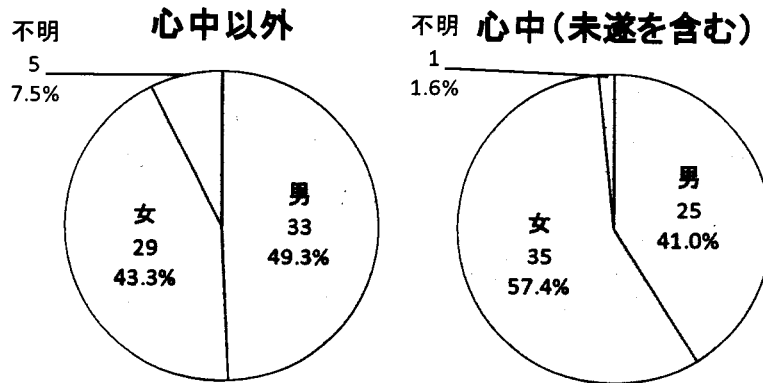


# 資 料 編



平成20年4月から平成21年3月まで (単位: 人)

図1-2 死亡した子どもの性別

○ 死亡した子どもの年齢は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、0歳が39人(59.1%)、1歳と2歳が4人(6.1%)、3歳が3人(4.5%)であり、0歳が半数以上を占めていた。また、3歳以下が50人(75.8%)を占め、第5次報告と比較して5.0ポイント減少しているものの、0歳児については11.7ポイント増加しており、低年齢に集中していた。

心中事例では、0歳が7人(11.7%)、1歳が4人(6.7%)、2歳が2人(3.3%)、3歳が5人(8.3%)であり、3歳以下が18人(30.0%)を占めていた。

表1-3 死亡した子どもの年齢

年齢	平成19年1月から平成20年3月まで								平成20年4月から平成21年3月まで							
	心中以外				心中(未遂を含む)				心中以外				心中(未遂を含む)			
	人数	構成割合	累積有効割合	人数	構成割合	有効割合	累積有効割合	人数	構成割合	有効割合	累積有効割合	人数	構成割合	有効割合	累積有効割合	
0歳	37	47.4%	47.4%	9	14.1%	14.3%	14.3%	39	58.2%	59.1%	59.1%	7	11.5%	11.7%	11.7%	
1歳	11	14.1%	61.5%	3	4.7%	4.8%	19.0%	4	6.0%	6.1%	65.2%	4	6.6%	6.7%	18.3%	
2歳	6	7.7%	69.2%	5	7.8%	7.9%	27.0%	4	6.0%	6.1%	71.2%	2	3.3%	3.3%	21.7%	
3歳	9	11.5%	80.8%	5	7.8%	7.9%	34.9%	3	4.5%	4.5%	75.8%	5	8.2%	8.3%	30.0%	
4歳	3	3.8%	84.6%	3	4.7%	4.8%	39.7%	8	11.9%	12.1%	87.9%	3	4.9%	5.0%	35.0%	
5歳	3	3.8%	88.5%	8	12.5%	12.7%	52.4%	2	3.0%	3.0%	90.9%	5	8.2%	8.3%	43.3%	
6歳	1	1.3%	89.7%	6	9.4%	9.5%	61.9%	1	1.5%	1.5%	92.4%	3	4.9%	5.0%	48.3%	
7歳	2	2.6%	92.3%	5	7.8%	7.9%	69.8%	0	0.0%	0.0%	92.4%	6	9.8%	10.0%	58.3%	
8歳	1	1.3%	93.6%	3	4.7%	4.8%	74.6%	0	0.0%	0.0%	92.4%	5	8.2%	8.3%	66.7%	
9歳	0	0.0%	93.6%	4	6.3%	6.3%	81.0%	1	1.5%	1.5%	93.9%	3	4.9%	5.0%	71.7%	
10歳	1	1.3%	94.9%	4	6.3%	6.3%	87.3%	1	1.5%	1.5%	95.5%	5	8.2%	8.3%	80.0%	
11歳	1	1.3%	96.2%	2	3.1%	3.2%	90.5%	1	1.5%	1.5%	97.0%	4	6.6%	6.7%	86.7%	
12歳	0	0.0%	96.2%	0	0.0%	0.0%	90.5%	1	1.5%	1.5%	98.5%	2	3.3%	3.3%	90.0%	
13歳	1	1.3%	97.4%	3	4.7%	4.8%	95.2%	0	0.0%	0.0%	98.5%	3	4.9%	5.0%	95.0%	
14歳	0	0.0%	97.4%	2	3.1%	3.2%	98.4%	0	0.0%	0.0%	98.5%	1	1.6%	1.7%	96.7%	
15歳	0	0.0%	97.4%	0	0.0%	0.0%	98.4%	0	0.0%	0.0%	98.5%	0	0.0%	0.0%	96.7%	
16歳	2	2.6%	100%	1	1.6%	1.6%	100%	1	1.5%	1.5%	100%	2	3.3%	3.3%	100%	
17歳	0	0.0%		0	0.0%	0.0%		0	0.0%	0.0%		0	0.0%	0.0%	100%	
小計	78	100%		63	98.4%	100%		66	98.5%	100%		60	98.4%	100%	100%	
不明	0	0.0%		1	1.6%			1	1.5%			1	1.6%			
計	78	100%		64	100%			67	100%			61	100%			

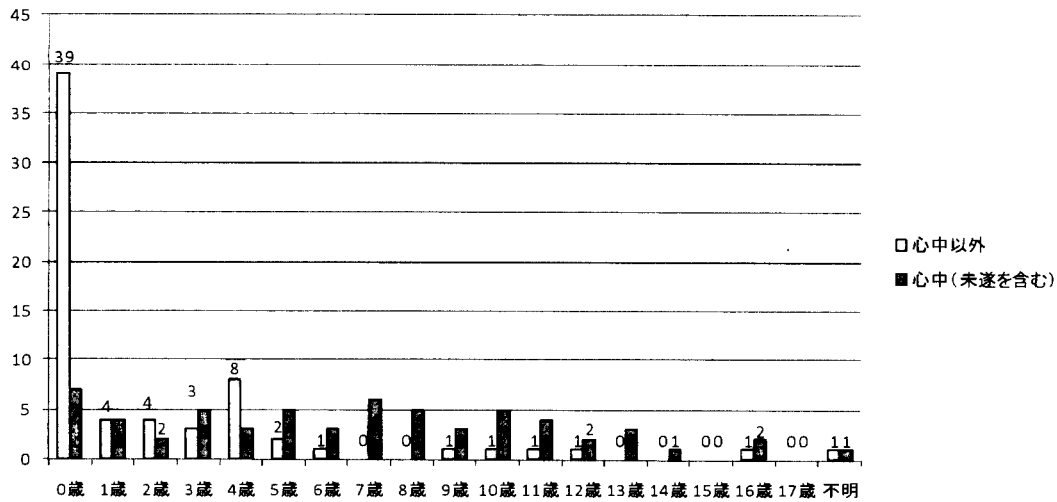


図1-3 死亡した子どもの年齢

2) 虐待を行った者の状況等

- 主な虐待の種類は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、「身体的虐待」が44人(78.6%)、「ネグレクト」が12人(21.4%)で身体的虐待が7割以上を占めており、身体的虐待が最も多い傾向は変わらなかった。また、第5次報告と比較すると「身体的虐待」の割合が増加し、「ネグレクト」の割合が減少した。

表2-1 主な虐待の種類

区分	平成19年1月から平成20年3月まで			平成20年4月から平成21年3月まで		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	52	66.7%	66.7%	44	65.7%	78.6%
ネグレクト	26	33.3%	33.3%	12	17.9%	21.4%
小計	78	100%	100%	56	83.6%	100%
不明	0	0.0%	0.0%	11	16.4%	
計	78	100%	100%	67	100%	

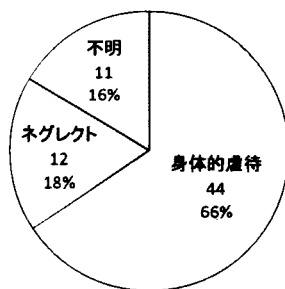


図2-1 主な虐待の種類

- 確認された虐待の種類（複数回答）は、心中以外の事例では「身体的虐待」が 44 人（65.7%）、「ネグレクト」が 16 人（23.9%）、心理的虐待が 6 人（9.0%）で、「性的虐待」は 0 人であった。

表 2-2 確認された虐待の種類（複数回答）

区分	心中以外							
	なし		確認された虐待				不明	
			主		副			
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	10	14.9%	44	65.7%	0	0.0%	13	19.4%
ネグレクト	29	43.3%	12	17.9%	4	6.0%	22	32.8%
心理的虐待	32	47.8%	0	0.0%	6	9.0%	29	43.3%
性的虐待	44	65.7%	0	0.0%	0	0.0%	23	34.3%

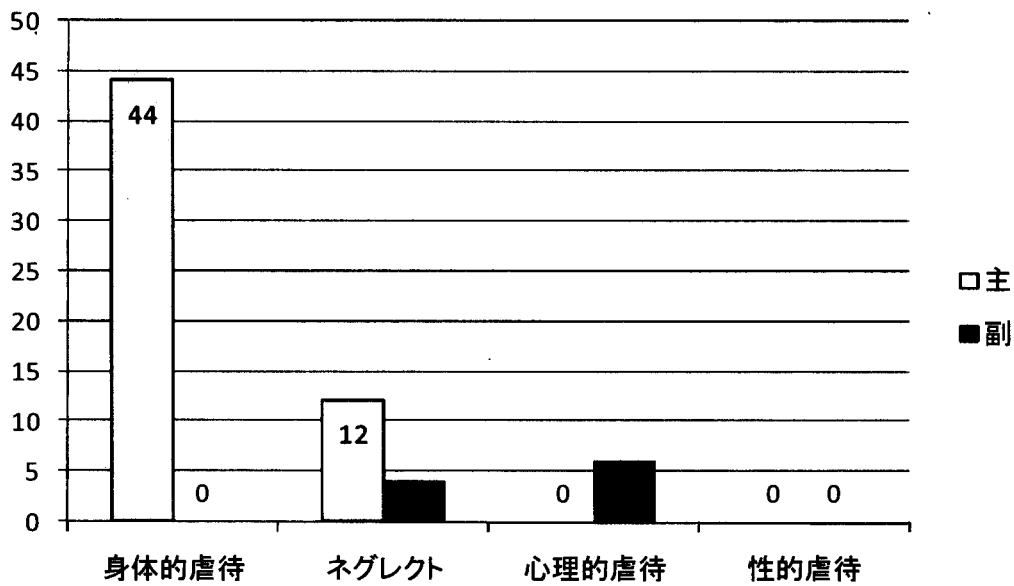


図 2-2 確認された虐待の種類

- 直接死因は、判明しているものとみると、心中以外の事例では、「頭部外傷」が 14 人（26.9%）と最も多く、次いで「溺水」が 9 人（17.3%）、「頸部絞扼以外による窒息」が 7 人（13.5%）、「頸部絞扼による窒息」が 5 人（9.6%）であった。
- 心中事例では、「頸部絞扼による窒息」が 16 人（26.7%）と最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が 13 人（21.7%）、「火災による熱傷・一酸化中毒」が 10 人（16.7%）だった。

表2-3 直接死因

区分	平成19年1月から平成20年3月まで						平成20年4月から平成21年3月まで					
	心中以外			心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	17	21.8%	24.3%	3	4.7%	5.2%	14	20.9%	26.9%	1	1.6%	1.7%
胸部外傷	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
腹部外傷	3	3.8%	4.3%	1	1.6%	1.7%	3	4.5%	5.8%	0	0.0%	0.0%
外傷性ショック	2	2.6%	2.9%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	4	6.6%	6.7%
頸部絞扼による窒息	8	10.3%	11.4%	13	20.3%	22.4%	5	7.5%	9.6%	16	26.2%	26.7%
頸部絞扼以外による窒息	14	17.9%	20.0%	3	4.7%	5.2%	7	10.4%	13.5%	0	0.0%	0.0%
溺水	3	3.8%	4.3%	9	14.1%	15.5%	9	13.4%	17.3%	6	9.8%	10.0%
熱傷	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	2	2.6%	2.9%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	3	4.7%	5.2%	0	0.0%	0.0%	13	21.3%	21.7%
出血性ショック	0	0.0%	0.0%	5	7.8%	8.6%	2	3.0%	3.8%	3	4.9%	5.0%
低栄養による衰弱	5	6.4%	7.1%	0	0.0%	0.0%	1	1.5%	1.9%	0	0.0%	0.0%
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.5%	1.9%	0	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	9	11.5%	12.9%	13	20.3%	22.4%	3	4.5%	5.8%	10	16.4%	16.7%
病死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	3	4.5%	5.8%	0	0.0%	0.0%
その他	6	7.7%	8.6%	7	10.9%	12.1%	4	6.0%	7.7%	7	11.5%	11.7%
内訳												
焼死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	3.0%	3.8%	0	0.0%	0.0%
プラスチック製ゴミ箱に入れてふたをし放置	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.5%	1.9%	0	0.0%	0.0%
顔部打撲による脳障害	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.5%	1.9%	0	0.0%	0.0%
轢死	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%
体幹部、頸部刺創による失血	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%
背部刺創による失血	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%
全身打撲	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	3.3%	3.3%
飛び降り	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	3.3%	3.3%
高所から投げ落とす	1	1.3%	1.4%	2	3.1%	3.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
急性硬膜下血腫	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
低酸素脳症	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
揺さぶられ症候群による頭蓋内出血	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
低体温症	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
トイレで出産遺棄	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
拳銃で殺害	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.7%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
未記入	0	0.0%	0.0%	3	4.7%	5.2%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
小計	70	89.7%	100%	58	90.6%	100%	52	77.6%	100%	60	98.4%	100%
不明	8	10.3%		6	9.4%	0.1034	15	22.4%		1	1.6%	
計	78	100%		64	100%	1.1034	67	100%		61	100%	

- 主たる加害者は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、「実母」が36人(59.0%)で最も多く、次いで「実父」が10人(16.4%)、「実父母」が5人(8.2%)であった。

心中事例では、「実母」が7割を占めていた。

表2-4 主たる加害者

区分	平成19年1月から平成20年3月				平成20年4月から平成21年3月					
	心中以外		心中(未遂を含む)		心中以外		心中(未遂を含む)			
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母	38	48.7%	42	65.6%	36	53.7%	59.0%	40	65.6%	70.2%
実父	16	20.5%	12	18.8%	10	14.9%	16.4%	14	23.0%	24.6%
継父	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
養母	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	1.6%	0	0.0%	0.0%
養父	1	1.3%	1	1.6%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	1	1.3%	1	1.6%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖父	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	0.0%	2	3.3%	3.5%
父方祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.8%
父方祖父	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	1.6%	0	0.0%	0.0%
母の交際相手	8	10.3%	0	0.0%	3	4.5%	4.9%	0	0.0%	0.0%
実父	10	12.8%	4	6.3%	5	7.5%	8.2%	0	0.0%	0.0%
養父	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	3.3%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	0	0.0%	3	4.7%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母の交際相手	1	1.3%	0	0.0%	3	4.5%	4.9%	0	0.0%	0.0%
その他	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
小計	78	100%	64	100%	61	91.0%	100%	57	93.4%	100%
不明	0	0.0%	0	0.0%	6	9.0%		4	6.6%	
計	78	100%	64	100%	67	100%		61	100%	

- 加害の動機は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、「しつけのつもり」が10人(22.7%)と最も多く、次いで「子どもの存在の拒否・否定」が8人(11.9%)、「泣きやまないことにはらだつたため」が5人(11.4%)であった。

表2-5 加害の動機

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
心中	-	-	-	61	100%	100%
しつけのつもり	10	14.9%	22.7%	-	-	-
子どもがなつかない	1	1.5%	2.3%	-	-	-
パートナーへの愛情を独占されたなど、子どもに対する嫉妬心	1	1.5%	2.3%	-	-	-
パートナーへの怒りを子どもに向ける	0	0.0%	0.0%	-	-	-
慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	0	0.0%	0.0%	-	-	-
精神症状による行為 (妄想などによる)	2	3.0%	4.5%	-	-	-
子どもの暴力などから身を守るため	0	0.0%	0.0%	-	-	-
MSBP (代理によるミュンヒハウゼン症候群)	3	4.5%	6.8%	-	-	-
保護を怠ったことによる死亡	4	6.0%	9.1%	-	-	-
子どもの存在の拒否・否定	8	11.9%	18.2%	-	-	-
泣きやまないことにはらだつたため	5	7.5%	11.4%	-	-	-
アルコール又は薬物依存に起因した精神症状による行為	0	0.0%	0.0%	-	-	-
その他	10	14.9%	22.7%	-	-	-
小計	44	65.7%	100%	61	100%	100%
不明	23	34.3%		-	-	
計	67	100%		61	100%	

3) 死亡した子どもに関する事項

- 妊娠期・周産期の問題は、心中以外の事例では、①「望まない妊娠/計画していない妊娠」と②「妊婦健診未受診」がそれぞれ21人(31.3%)、③「母子健康手帳の未発行」が20人(29.9%)、④「若年(10代)妊娠」が15人(22.4%)であった。

表3-1 妊娠期・周産期の問題

区分	心中以外						心中(未遂を含む)					
	人数(構成割合/67人)						人数(構成割合/61人)					
	あり		なし		未記入・不明		あり		なし		未記入・不明	
人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
切迫流産・切迫早産	4	6.0%	18	26.9%	45	67.2%	3	4.9%	23	37.7%	35	57.4%
妊娠高血圧症候群	2	3.0%	15	22.4%	50	74.6%	0	0.0%	24	39.3%	37	60.7%
喫煙の常習	7	10.4%	12	17.9%	48	71.6%	1	1.6%	14	23.0%	46	75.4%
アルコールの常習	5	7.5%	14	20.9%	48	71.6%	0	0.0%	14	23.0%	47	77.0%
マタニティブルー	1	1.5%	14	20.9%	52	77.6%	1	1.6%	14	23.0%	46	75.4%
望まない妊娠/計画していない妊娠	21	31.3%	8	11.9%	38	56.7%	1	1.6%	15	24.6%	45	73.8%
若年(10代)妊娠	15	22.4%	34	50.7%	18	26.9%	1	1.6%	39	63.9%	21	34.4%
母子健康手帳の未発行	20	29.9%	27	40.3%	20	29.9%	0	0.0%	25	41.0%	36	59.0%
妊婦健診未受診	21	31.3%	16	23.9%	30	44.8%	0	0.0%	22	36.1%	39	63.9%
胎児虐待	0	0.0%	21	31.3%	46	68.7%	0	0.0%	18	29.5%	43	70.5%
墜落分娩	9	13.4%	22	32.8%	36	53.7%	0	0.0%	27	44.3%	34	55.7%
陣痛が微弱であった	1	1.5%	18	26.9%	48	71.6%	0	0.0%	19	31.1%	42	68.9%
帝王切開	4	6.0%	33	49.3%	30	44.8%	3	4.9%	22	36.1%	36	59.0%
低体重	9	13.4%	20	29.9%	38	56.7%	2	3.3%	25	41.0%	34	55.7%
多胎	4	6.0%	40	59.7%	23	34.3%	0	0.0%	36	59.0%	25	41.0%
新生児仮死	0	0.0%	29	43.3%	38	56.7%	1	1.6%	28	45.9%	32	52.5%
その他の疾患・障害	0	0.0%	29	43.3%	38	56.7%	0	0.0%	27	44.3%	34	55.7%
出生時の退院の遅れによる母子分離	6	9.0%	38	56.7%	23	34.3%	0	0.0%	26	42.6%	35	57.4%
NICU入院	2	3.0%	40	59.7%	25	37.3%	1	1.6%	26	42.6%	34	55.7%

- 子どもの疾患・障害等は、心中以外の事例では、「身体発育の遅れ」が4人(6.0%)だった。

心中事例では、「身体疾患」が5人(8.2%)、「身体障害」が3人(4.9%)だった。

表3-2 子どもの疾患・障害等

区分	心中以外						心中(未遂を含む)					
	人数(構成割合/67人)						人数(構成割合/61人)					
	あり		なし		未記入・不明		あり		なし		未記入・不明	
人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
身体疾患	1	1.5%	29	43.3%	37	55.2%	5	8.2%	26	42.6%	30	49.2%
身体障害	1	1.5%	30	44.8%	36	53.7%	3	4.9%	34	55.7%	24	39.3%
知的発達の遅れ	1	1.5%	29	43.3%	37	55.2%	1	1.6%	37	60.7%	23	37.7%
身体発育の遅れ(極端な痩せ、身長が低いなど)	4	6.0%	31	46.3%	32	47.8%	1	1.6%	40	65.6%	20	32.8%

- 情緒・行動上の問題(複数回答)は、判明したものでみると、心中以外の事例では、「なし」が19人(65.5%)、「指示に従わない」が6人(20.7%)、「なつかない」が4人(13.8%)だった。

表3-3 情緒・行動上の問題（複数回答）

区分	心中以外(67人)			心中(未遂を含む)(61人)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
なし	19	28.4%	65.5%	25	41.0%	83.3%	
あり	10	14.9%	34.5%	5	8.2%	16.7%	
内訳(再掲)	ミルクの飲みムラ	3	4.5%	10.3%	2	3.3%	6.7%
	激しい泣き	3	4.5%	10.3%	2	3.3%	6.7%
	夜泣き	3	4.5%	10.3%	1	1.6%	3.3%
	食事の拒否	2	3.0%	6.9%	0	0.0%	0.0%
	夜尿	1	1.5%	3.4%	0	0.0%	0.0%
	多動	3	4.5%	10.3%	0	0.0%	0.0%
	衝動性	2	3.0%	6.9%	0	0.0%	0.0%
	かんしゃく	1	1.5%	3.4%	0	0.0%	0.0%
	自傷行為	1	1.5%	3.4%	0	0.0%	0.0%
	性器いじり	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	指示に従わない	6	9.0%	20.7%	0	0.0%	0.0%
	なつかない	4	6.0%	13.8%	0	0.0%	0.0%
	無表情、表情が乏しい	2	3.0%	6.9%	0	0.0%	0.0%
	固まってしまう	1	1.5%	3.4%	0	0.0%	0.0%
	盗癖	1	1.5%	3.4%	0	0.0%	0.0%
	虚言癖	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	不登校	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	2	3.0%	6.9%	1	1.6%	3.3%	
小計	29	43.3%	100%	30	49.2%	100%	
不明	38	56.7%		31	50.8%		
計	67	100%		61	100%		

- 乳幼児健康診査の状況（複数回答）は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「3～4か月児健診」で7人（26.9%）、「1歳6か月児健診」で8人（47.1%）、「3歳児健診」で3人（23.1%）がそれぞれ未受診であると確認され、いずれの健診においても、第5次報告と比較して、未受診者の割合が増加した。

心中事例では、「3～4か月児健診」で2人（6.9%）、「1歳6か月児健診」で4人（16.0%）、「3歳児健診」で4人（21.1%）がそれぞれ未受診であると確認された。

- 予防接種の状況（複数回答）は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「BCG・ツベルクリン」で32人（68.1%）、「ポリオ」で21人（65.6%）、「三種混合」で24人（77.4%）、「麻疹」で20人（76.9%）、「風疹」で20人（80.0%）がそれぞれ未接種だった。

心中事例では、「BCG・ツベルクリン」で3人（8.8%）、「ポリオ」で4人（12.1%）、「三種混合」で6人（18.2%）、「麻疹」で6人（18.2%）、「風疹」で7人（21.9%）がそれぞれ未接種だった。



表3-4 乳幼児健診および予防接種の状況（複数回答）

区分	心中以外 人数(有効割合/67人)						心中(未遂を含む) 人数(有効割合/61人)					
	受診済み		未受診		年齢的 に非該当	不明	受診済み		未受診		年齢的 に非該当	不明
	人数	有効割合	人数	有効割合			人数	有効割合	人数	有効割合		
3~4か月児健診	19	73.1%	7	26.9%	28	13	27	93.1%	2	6.9%	0	32
1歳6か月児健診	9	52.9%	8	47.1%	40	10	21	84.0%	4	16.0%	7	29
3歳児健診	10	76.9%	3	23.1%	47	7	15	78.9%	4	21.1%	12	30
BCG・ツベルクリン	15	31.9%	32	68.1%	0	20	31	91.2%	3	8.8%	0	27
ポリオ	11	34.4%	21	65.6%	21	14	29	87.9%	4	12.1%	0	28
三種混合	7	22.6%	24	77.4%	21	15	27	81.8%	6	18.2%	0	28
麻疹	6	23.1%	20	76.9%	25	16	25	80.6%	6	19.4%	1	29
風疹	5	20.0%	20	80.0%	25	17	25	78.1%	7	21.9%	1	28

- 養育機関への所属等は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「なし」が50人(82.0%)、「保育所」が3人(4.9%)、「幼稚園」が2人(3.3%)、「小学校」が5人(8.2%)、「中学校」が0人、「高等学校」が1人(1.6%)であった。

心中事例では、「なし」が16人(29.6%)、「保育所」が7人(13.0%)、「幼稚園」が5人(9.3%)、「小学校」が23人(42.6%)、「中学校」が3人(5.6%)、「高等学校」が0人であった。

表3-5 養育機関への所属等

区分	心中以外(67人)			心中(未遂を含む)(61人)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
なし	50	74.6%	82.0%	16	26.2%	29.6%	
あり	11	16.4%	18.0%	38	62.3%	70.4%	
内訳(再掲)	保育所	3	4.5%	4.9%	7	11.5%	13.0%
	幼稚園	2	3.0%	3.3%	5	8.2%	9.3%
	小学校	5	7.5%	8.2%	23	37.7%	42.6%
	中学校	0	0.0%	0.0%	3	4.9%	5.6%
	高等学校	1	1.5%	1.6%	0	0.0%	0.0%
小計	61	91.0%	100%	54	88.5%	100%	
不明	6	9.0%		7	11.5%		
計	67	100%		61	100%		

4) 養育環境などについて

- 養育者の状況(家族形態)は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「実父母」が26例(44.8%)と最も多く、次いで「一人親(未婚)」が11例(19.0%)、「内縁関係」が9例(15.5%)であった。

心中事例では、「実父母」が22例(56.4%)と最も多く、次いで「一人親(離婚)」が13例(33.3%)であった。

表4-1 養育者の状況（家族形態）

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実父母	26	40.6%	44.8%	22	51.2%	56.4%
一人親(離婚)	5	7.8%	8.6%	13	30.2%	33.3%
一人親(未婚)	11	17.2%	19.0%	3	7.0%	7.7%
一人親(死別)	1	1.6%	1.7%	0	0.0%	0.0%
連れ子の再婚	2	3.1%	3.4%	0	0.0%	0.0%
内縁関係	9	14.1%	15.5%	0	0.0%	0.0%
養父母	1	1.6%	1.7%	0	0.0%	0.0%
その他	3	4.7%	5.2%	1	2.3%	2.6%
小計	58	90.6%	100%	39	90.6%	100%
不明	6	9.4%		4	9.3%	
計	64	100%		43	100%	

- 祖父母の同居の状況は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「なし」が37例（63.8%）と最も多く、次いで「母方祖父母同居」が10例（17.2%）であった。  
 心中事例では、「なし」が29例（76.3%）と最も多く、次いで「母方祖母同居」が4例（10.5%）であった。

表4-2-1 祖父母の同居状況

	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	37	57.8%	63.8%	29	67.4%	76.3%	
あり	21	32.8%	36.2%	9	20.9%	23.7%	
内訳 (再掲)	母方祖母同居	3	4.7%	5.2%	4	9.3%	10.5%
	母方祖父同居	1	1.6%	1.7%	1	2.3%	2.6%
	母方祖父母同居	10	15.6%	17.2%	1	2.3%	2.6%
	父方祖母同居	4	6.3%	6.9%	0	0.0%	0.0%
	父方祖父同居	2	3.1%	3.4%	0	0.0%	0.0%
父方祖父母同居	1	1.6%	1.7%	3	7.0%	7.9%	
小計	58	90.6%	100%	38	88.4%	100%	
不明	6	9.4%		5	11.6%		
計	64	100%		43	100%		

- 実父母、祖父母以外の者の同居状況は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「なし」が34例（65.4%）で最も多く、次いで「母の交際相手」が7例（13.5%）であった。  
 心中事例では、「なし」が32例（91.4%）であった。

表4-2-2 実父母、祖父母以外の者の同居状況

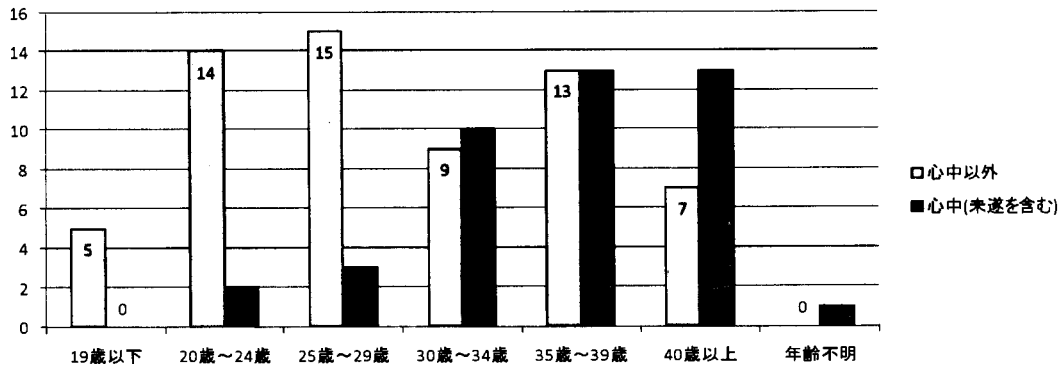
	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	34	53.1%	65.4%	32	74.4%	91.4%	
あり	18	28.1%	34.6%	3	7.0%	8.6%	
内訳 (再掲)	母の交際相手	7	10.9%	13.5%	0	0.0%	0.0%
	父の交際相手	1	1.6%	1.9%	0	0.0%	0.0%
	その他	10	15.6%	19.2%	3	7.0%	8.6%
小計	52	81.3%	100%	35	81.4%	100%	
不明	12	18.8%		8	18.6%		
計	64	100%		43	100%		

○ 本児死亡時の実母・実父の年齢は、判明したものでみると、心中以外の事例では、実母の年齢階級は、「25歳～29歳」が15例(23.8%)と最も多く、次いで「20歳～24歳」が14例(22.2%)、「35歳～39歳」が13例(20.6%)であった。実父の年齢階級は、「20歳～24歳」と「30歳～34歳」がそれぞれ7例(13.5%)と最も多く、次いで「25歳～29歳」が5例(9.6%)であった。

心中事例では、実母の年齢階級は、「35歳～39歳」と「40歳以上」がそれぞれ13例(31.0%)と最も多く、次いで「30歳～34歳」が10例(23.8%)であった。実父の年齢階級は「35歳～39歳」が15例(39.5%)で最も多く、次いで「40歳以上」が12例(31.6%)であった。

表4-3 本児死亡時の実母・実父の年齢

区分	心中以外(64例)						心中(未遂を含む)(43例)						
	実母			実父			実母			実父			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
いない	0	0.0%	0.0%	18	28.1%	34.6%	0	0.0%	0.0%	4	9.3%	10.5%	
いる	63	98.4%	100.0%	34	53.1%	65.4%	42	97.7%	100.0%	34	79.1%	89.5%	
内訳 (再掲)	19歳以下	5	7.8%	7.9%	1	1.6%	1.9%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	20歳～24歳	14	21.9%	22.2%	7	10.9%	13.5%	2	4.7%	4.8%	1	2.3%	2.6%
	25歳～29歳	15	23.4%	23.8%	5	7.8%	9.6%	3	7.0%	7.1%	3	7.0%	7.9%
	30歳～34歳	9	14.1%	14.3%	7	10.9%	13.5%	10	23.3%	23.8%	3	7.0%	7.9%
	35歳～39歳	13	20.3%	20.6%	2	3.1%	3.8%	13	30.2%	31.0%	15	34.9%	39.5%
	40歳以上	7	10.9%	11.1%	11	17.2%	21.2%	13	30.2%	31.0%	12	27.9%	31.6%
	年齢不明	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.9%	1	2.3%	2.4%	0	0.0%	0.0%
小計	63	98.4%	100%	52	81.3%	100%	42	97.7%	100%	38	88.4%	100%	
不明	1	1.6%		12	18.8%		1	2.3%		5	11.6%		
計	64	100%		64	100%		43	100%		43	100%		



※実母の有無不明例を除く（単位：例）

図4-3 本児死亡時の実母の年齢

- 家計を支えている主たる者は、判明したものでみると、心中以外の事例では、「実父」が19例（38.8%）、「実母」が13例（26.5%）であった。  
 心中事例では、「実父」が23例（69.7%）でほぼ7割を占めていた。「実母」は8例（24.2%）であった。

表4-4 家計を支えている主たる者

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実母	13	20.3%	26.5%	8	18.6%	24.2%
実父	19	29.7%	38.8%	23	53.5%	69.7%
継父	2	3.1%	4.1%	0	0.0%	0.0%
養父	3	4.7%	6.1%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	2	3.1%	4.1%	0	0.0%	0.0%
母方祖父	6	9.4%	12.2%	2	4.7%	6.1%
母の交際相手	3	4.7%	6.1%	0	0.0%	0.0%
父の交際相手	1	1.6%	2.0%	0	0.0%	0.0%
小計	49	76.6%	100%	33	76.7%	100%
不明	15	23.4%		10	23.3%	
計	64	100%		43	100%	

- 住宅の状況は、判明したものでみると、心中以外の事例では、「集合住宅（賃貸）」が26例（52.0%）で最も多く、次いで「一戸建て（持ち家）」が16例（32.0%）であった。  
 心中事例では、「一戸建て（持ち家）」が14例（42.4%）、「集合住宅（賃貸）」が13例（39.4%）であった。

表4-5 住宅の状況

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
一戸建て(持ち家)	16	25.0%	32.0%	14	32.6%	42.4%
一戸建て(賃貸)	4	6.3%	8.0%	0	0.0%	0.0%
集合住宅(所有)	1	1.6%	2.0%	1	2.3%	3.0%
集合住宅(賃貸)	26	40.6%	52.0%	13	30.2%	39.4%
公営住宅	3	4.7%	6.0%	4	9.3%	12.1%
他人の家に同居	0	0.0%	0.0%	1	2.3%	3.0%
小計	50	78.1%	100%	33	76.7%	100%
不明	14	21.9%		10	23.3%	
計	64	100%		43	100%	

- 家族の経済状況は、判明したものとみると、心中以外の事例では、「市町村民税非課税世帯」が7例(35.0%)、「市町村民税課税世帯(年収500万円未満)」が6例(30.0%)、「年収500万円以上」が4例(20.0%)であった。

心中事例では、「市町村民税課税世帯(年収500万円未満)」が8例(42.1%)、「年収500万円以上」が5例(26.3%)であった。

表4-6 家族の経済状況

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	2	3.1%	10.0%	2	4.7%	10.5%
市町村民税非課税世帯	7	10.9%	35.0%	3	7.0%	15.8%
市町村民税課税世帯 (均等割のみ課税)	1	1.6%	5.0%	1	2.3%	5.3%
市町村民税課税世帯 (年収500万円未満)	6	9.4%	30.0%	8	18.6%	42.1%
年収500万円以上	4	6.3%	20.0%	5	11.6%	26.3%
小計	20	31.3%	100%	19	44.2%	100%
不明	44	68.8%		24	55.8%	
計	64	100%		43	100%	

- 本児死亡時の実母・実父の就業状況は、判明したものとみると、心中以外の事例では、実母の就業状況は、「無職」が25例(58.1%)、「パート」が13例(30.2%)であった。実父の就業状況は、「フルタイム」が18例(78.3%)であった。

心中事例では、実母の就業状況は、「無職」が19例(63.3%)、「パート」が7例(16.7%)であった。実父の就業状況は、「フルタイム」が21例(87.5%)であった。

表4-7 本児死亡時の実母・実父の就業状況

区分	心中以外						心中(未遂を含む)					
	実母(63例)			実父(34例)			実母(42例)			実父(34例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
フルタイム	3	4.8%	7.0%	18	52.9%	78.3%	2	4.8%	6.7%	21	61.8%	87.5%
パート	13	20.6%	30.2%	1	2.9%	4.3%	7	16.7%	23.3%	0	0.0%	0.0%
家事手伝い	2	3.2%	4.7%	-	-	-	2	4.8%	6.7%	-	-	-
無職	25	39.7%	58.1%	4	11.8%	17.4%	19	45.2%	63.3%	3	8.8%	12.5%
小計	43	68.3%	100%	23	67.6%	100%	30	71.4%	100%	24	70.6%	100%
不明	20	31.7%		11	32.4%		12	28.6%		10	29.4%	
計	63	100%		34	100%		42	100%		34	100%	

- 死亡した子どもが出生してからの転居回数は、判明したものでみると、心中以外の事例では、「なし」が27例(55.1%)で半数以上を占め、次いで「1回」が9例(18.4%)であった。

心中事例では、「なし」が14例(53.8%)で、「1回」が12例(46.2%)であった。

表4-8 死亡した子どもが出生してからの転居回数

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし	27	42.2%	55.1%	14	32.6%	53.8%
1回	9	14.1%	18.4%	12	27.9%	46.2%
2回	4	6.3%	8.2%	0	0.0%	0.0%
3回	5	7.8%	10.2%	0	0.0%	0.0%
4回	2	3.1%	4.1%	0	0.0%	0.0%
5回以上	2	3.1%	4.1%	0	0.0%	0.0%
小計	49	76.6%	100%	26	60.5%	100%
不明	15	23.4%		17	39.5%	
計	64	100%		43	100%	

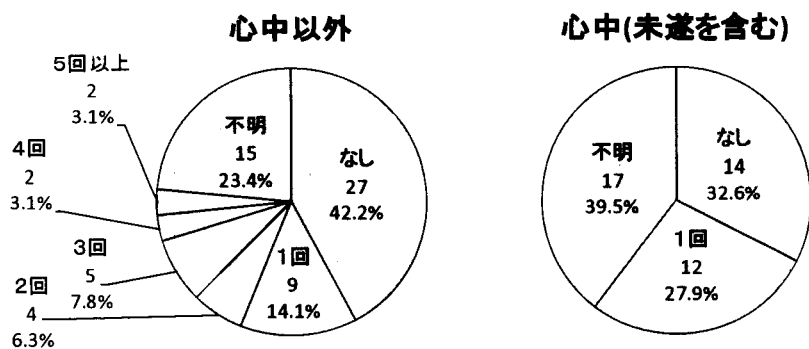


図4-8 死亡した子どもが出生してからの転居回数

- 地域社会との接触は、判明したものでみると、心中以外の事例では、「ほとんどない」が19例(48.7%)、「ふつう」が13例(33.3%)、「乏しい」が7例(17.9%)であった。心中事例では、「ふつう」が13例(68.4%)であった。

表4-9 地域社会との接触

区分	心中以外(64例)			心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
ほとんどない	19	29.7%	48.7%	3	7.0%	15.8%
乏しい	7	10.9%	17.9%	2	4.7%	10.5%
ふつう	13	20.3%	33.3%	13	30.2%	68.4%
活発	0	0.0%	0.0%	1	2.3%	5.3%
小計	39	60.9%	100%	19	44.2%	100%
不明	25	39.1%		24	55.8%	
計	64	100%		43	100%	

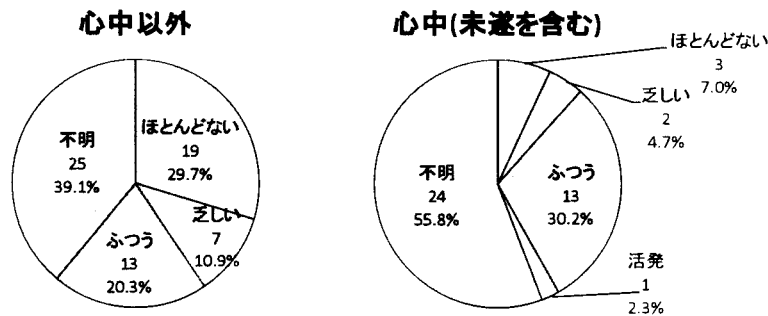


図4-9 地域社会との接触

○ 養育を支援してくれた人（複数回答）は、心中以外の事例では、実母の場合、「親」が19例（30.2%）と最も多く、次いで「配偶者」が16例（25.4%）、「なし」が13例（20.6%）であった。また、実父の場合は、「配偶者」が13例（38.2%）、「親」と「配偶者の親」がそれぞれ8例（23.5%）であった。

心中事例では、実母の場合、「親」が12例（28.6%）、「配偶者」が9例（21.4%）であった。また、実父の場合は、「親」が5例（14.7%）、「配偶者」と「配偶者の親」、「なし」がそれぞれ4例（11.8%）であった。

表4-10 養育を支援してくれた人（複数回答）

区分		心中以外				心中(未遂を含む)			
		実母(63例)		実父(34例)		実母(42例)		実父(34例)	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
なし		13	20.6%	6	17.6%	2	4.8%	4	11.8%
あり		27	42.9%	14	41.2%	16	38.1%	7	20.6%
内訳 (再掲) (複数回答)	配偶者	16	25.4%	13	38.2%	9	21.4%	4	11.8%
	親	19	30.2%	8	23.5%	12	28.6%	5	14.7%
	配偶者の親	10	15.9%	8	23.5%	5	11.9%	4	11.8%
	虐待者のきょうだい	1	1.6%	0	0.0%	4	9.5%	1	2.9%
	配偶者のきょうだい	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	近所の人	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
	職場の友人・知人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
	保育所などの職員	5	7.9%	0	0.0%	4	9.5%	2	5.9%
	行政の相談担当者	5	7.9%	0	0.0%	4	9.5%	1	2.9%
	職場以外の友人	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	親類	4	6.3%	3	8.8%	4	9.5%	1	2.9%
不明		23	36.5%	14	41.2%	24	57.1%	23	67.6%

- 子育て支援事業の利用（複数回答）は、心中以外の事例では、「なし」が40例（62.5%）と最も多く、次いで「保育所入所」が5例（7.8%）であった。  
 心中事例では、「なし」が18例（41.9%）、「保育所入所」が8例（18.6%）であった。

表4-11 子育て支援事業の利用（複数回答）

区分	心中以外(64例)		心中(未遂を含む)(43例)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	
なし	40	62.5%	18	41.9%	
あり	6	9.4%	11	25.6%	
内訳(再掲)	つどいの広場事業	0	0.0%	3	7.0%
	地域子育て支援センター事業	0	0.0%	2	4.7%
	養育支援訪問事業 (育児支援家庭訪問事業)	1	1.6%	2	4.7%
	一時保育事業	0	0.0%	0	0.0%
	訪問型一時保育事業	0	0.0%	0	0.0%
	訪問型一時保育事業 (乳幼児健康支援一時預かり事業)	0	0.0%	0	0.0%
	特定保育事業	0	0.0%	0	0.0%
	ファミリー・サポートセンター事業	0	0.0%	0	0.0%
	病後児保育	0	0.0%	0	0.0%
	ショートステイ事業	0	0.0%	0	0.0%
	トワイライトショートステイ事業	0	0.0%	0	0.0%
	放課後児童健全育成事業	1	1.6%	0	0.0%
	保育所入所	5	7.8%	8	18.6%
不明	18	28.1%	14	32.6%	

- 養育者の心理的・精神的問題等（複数回答）は、心中以外の事例では、実母の場合、「育児不安」が16例（25.4%）と最も多く、次いで「養育能力の低さ」が10例（15.9%）、「衝動性」が8例（12.7%）、「怒りのコントロール不全」が7例（11.1%）であった。  
 また、実父の場合は、「攻撃性」が7例（20.6%）と最も多く、次いで「衝動性」と「怒りのコントロール不全」がそれぞれ6例（17.6%）、「感情の起伏が激しい」と「養育能力の低さ」がそれぞれ5例（14.7%）であった。  
 心中事例では、実母の場合、「育児不安」が12例（28.6%）、「うつ状態」が11例（26.2%）、「精神疾患（医師の診断によるもの）」が8例（19.0%）であった。



表4-12 養育者の心理的・精神的問題等

i. 心中以外（複数回答）

区分	実母 例数(構成割合/63例)						実父 例数(構成割合/34例)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
育児不安	16	25.4%	12	19.0%	35	55.6%	2	5.9%	9	26.5%	23	67.6%
マタニティーブルーズ	1	1.6%	15	23.8%	47	74.6%						
産後うつ	2	3.2%	17	27.0%	44	69.8%						
知的障害	2	3.2%	38	60.3%	23	36.5%	0	0.0%	21	61.8%	13	38.2%
精神疾患 (医師の診断によるもの)	2	3.2%	29	46.0%	32	50.8%	1	2.9%	18	52.9%	15	44.1%
身体障害	2	3.2%	40	63.5%	21	33.3%	0	0.0%	23	67.6%	11	32.4%
その他の障害	0	0.0%	31	49.2%	32	50.8%	0	0.0%	18	52.9%	16	47.1%
アルコール依存	5	7.9%	27	42.9%	31	49.2%	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%
薬物依存	0	0.0%	28	44.4%	35	55.6%	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%
衝動性	8	12.7%	17	27.0%	38	60.3%	6	17.6%	8	23.5%	20	58.8%
攻撃性	6	9.5%	20	31.7%	37	58.7%	7	20.6%	8	23.5%	19	55.9%
怒りのコントロール不全	7	11.1%	20	31.7%	36	57.1%	6	17.6%	9	26.5%	19	55.9%
うつ状態	3	4.8%	20	31.7%	40	63.5%	1	2.9%	10	29.4%	23	67.6%
躁状態	0	0.0%	23	36.5%	40	63.5%	0	0.0%	10	29.4%	24	70.6%
感情の起伏が激しい	5	7.9%	20	31.7%	38	60.3%	5	14.7%	5	14.7%	24	70.6%
高い依存性	2	3.2%	18	28.6%	43	68.3%	0	0.0%	11	32.4%	23	67.6%
幻覚	0	0.0%	22	34.9%	41	65.1%	0	0.0%	12	35.3%	22	64.7%
妄想	1	1.6%	21	33.3%	41	65.1%	0	0.0%	12	35.3%	22	64.7%
DVを受けている	6	9.5%	22	34.9%	35	55.6%	0	0.0%	18	52.9%	16	47.1%
DVを行っている	0	0.0%	29	46.0%	34	54.0%	3	8.8%	14	41.2%	17	50.0%
自殺未遂の既往	1	1.6%	24	38.1%	38	60.3%	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%
養育能力の低さ	10	15.9%	18	28.6%	35	55.6%	5	14.7%	10	29.4%	19	55.9%

ii. 心中（未遂を含む）（複数回答）

区分	実母 例数(構成割合/42例)						実父 例数(構成割合/34例)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
育児不安	12	28.6%	6	14.3%	24	57.1%	2	5.9%	5	14.7%	27	79.4%
マタニティーブルーズ	1	2.4%	11	26.2%	30	71.4%						
産後うつ	1	2.4%	14	33.3%	27	64.3%						
知的障害	1	2.4%	25	59.5%	16	38.1%	0	0.0%	17	50.0%	17	50.0%
精神疾患 (医師の診断によるもの)	8	19.0%	14	33.3%	20	47.6%	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%
身体障害	0	0.0%	25	59.5%	17	40.5%	0	0.0%	18	52.9%	16	47.1%
その他の障害	2	4.8%	14	33.3%	26	61.9%	0	0.0%	12	35.3%	22	64.7%
アルコール依存	0	0.0%	15	35.7%	27	64.3%	0	0.0%	9	26.5%	25	73.5%
薬物依存	0	0.0%	15	35.7%	27	64.3%	0	0.0%	9	26.5%	25	73.5%
衝動性	2	4.8%	10	23.8%	30	71.4%	0	0.0%	6	17.6%	28	82.4%
攻撃性	2	4.8%	12	28.6%	28	66.7%	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%
怒りのコントロール不全	1	2.4%	9	21.4%	32	76.2%	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%
うつ状態	11	26.2%	5	11.9%	26	61.9%	1	2.9%	7	20.6%	26	76.5%
躁状態	1	2.4%	11	26.2%	30	71.4%	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%
感情の起伏が激しい	1	2.4%	9	21.4%	32	76.2%	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%
高い依存性	1	2.4%	12	28.6%	29	69.0%	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%
幻覚	0	0.0%	14	33.3%	28	66.7%	0	0.0%	7	20.6%	27	79.4%
妄想	1	2.4%	13	31.0%	28	66.7%	0	0.0%	7	20.6%	27	79.4%
DVを受けている	0	0.0%	12	28.6%	30	71.4%	0	0.0%	11	32.4%	23	67.6%
DVを行っている	0	0.0%	13	31.0%	29	69.0%	0	0.0%	9	26.5%	25	73.5%
自殺未遂の既往	5	11.9%	7	16.7%	30	71.4%	0	0.0%	7	20.6%	27	79.4%
養育能力の低さ	4	9.5%	17	40.5%	21	50.0%	0	0.0%	10	29.4%	24	70.6%

5) 関係機関の対応について

- 児童相談所及び関係の関与については、心中以外の事例では、「関係機関との接点はあったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例」が22例(34.4%)と最も多く、「関係機関と全く接点を持ちえなかった事例」が14例(21.9%)であった。

心中事例では、「関係機関との接点はあったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例」が21例(48.8%)と最も多く、「関係機関と全く接点を持ちえなかった事例」が8例(18.6%)であった。

表5-1 児童相談所及び関係機関の関与について

区分	平成19年1月から平成20年3月まで				平成20年4月から平成21年3月まで			
	心中以外		心中(未遂含む)		心中以外		心中(未遂含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所が関わっていた事例 (虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む)	15	20.5%	2	4.8%	7	10.9%	2	4.7%
関係機関が虐待やその疑いを認識していたが、児童相談所が関わっていなかった事例	6	8.2%	0	0.0%	6	9.4%	1	2.3%
関係機関との接点はあったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例	22	30.1%	21	50.0%	22	34.4%	21	48.8%
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	13	17.8%	4	9.5%	14	21.9%	8	18.6%
不明	17	23.3%	15	35.7%	15	23.4%	11	25.6%

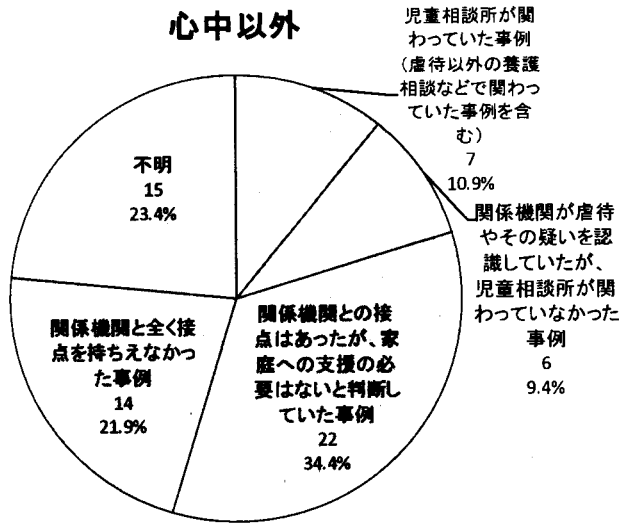


図5-1 児童相談所及び関係機関の関与について (心中以外的事例のみ)

- 虐待通告の有無は、判明しているものでみると、心中以外的事例では、「あり」は7例(11.1%であり、うち通告先が「児童相談所」が5例(7.9%)であった。また、「なし」は56例(88.9%)であった。  
 心中事例では、「あり」は2例(4.9%)、「なし」が39例(95.1%)であった。

表5-2 虐待通告の有無

区分	心中以外			心中(未遂を含む)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	56	87.5%	88.9%	39	90.7%	95.1%	
あり	7	10.9%	11.1%	2	4.7%	4.9%	
内訳(再掲)	児童相談所	5	7.8%	7.9%	1	2.3%	2.4%
	市町村	1	1.6%	1.6%	1	2.3%	2.4%
	福祉事務所	1	1.6%	1.6%	0	0.0%	0.0%
小計	63	98.4%	100%	41	95.3%	100%	
不明	1	1.6%		2	4.7%		
計	64	100%		43	100%		

- 児童相談所の関与の有無は、心中以外の事例では、「なし」が56例（87.5%）、「あり」が7例（10.9%）であった。

心中事例では、「なし」が37例（86.0%）、「あり」が2例（4.7%）であった。

表5-3 児童相談所の関与の有無

区分	心中以外		心中(未遂含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	7	10.9%	2	4.7%
なし	56	87.5%	37	86.0%
不明	1	1.6%	4	9.3%
計	64	100%	43	100%

- 児童相談所の虐待についての認識は、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった7事例のうち、「虐待の認識があり、対応していた」事例は2例（28.6%）、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」事例は4例（57.1%）、「虐待の認識はなかった」事例は1例（14.3%）であった。

心中事例では、児童相談所の関与があった2例とも「虐待の認識はなかった」事例であった。

表5-4 児童相談所の虐待についての認識

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
虐待の認識があり、対応していた	2	28.6%	0	0.0%
虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった	4	57.1%	0	0.0%
虐待の認識はなかった	1	14.3%	2	100%
計	7	100%	2	100%

- 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直しは、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった7例のすべてにおいて、行われていなかった。

心中事例でも、児童相談所の関与があった2例のすべてにおいて、行われていなかった。

表5-5 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
行った	0	0.0%	0	0.0%
行わなかった	7	100%	2	100%
計	7	100%	2	100%

- 児童相談所と子どもとの接触は、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった7例のうち、「あり」が4例（57.1%）であり、「なし」が3例（42.9%）であった。  
 心中事例では、児童相談所の関与があった2例のうち、「あり」と「なし」がそれぞれ1例ずつであった。

表5-6 児童相談所と子どもとの接触

区分	心中以外		心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	
なし	3	42.9%	1	50.0%	
あり	4	57.1%	1	50.0%	
内訳(再掲)	初回面接時のみ	1	14.3%	1	50.0%
	週1回程度	1	14.3%	0	0.0%
	1か月に1回程度	1	14.3%	0	0.0%
	その他	1	14.3%	0	0.0%
計	7	100%	2	100%	

- 児童相談所による最終安全確認の時期は、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった7例のうち、「死亡前1週間～1か月未満」が4例（57.1%）、「死亡前1週間未満」と「死亡前1か月～3か月未満」がそれぞれ1例（14.3%）であった。  
 心中事例では、児童相談所の関与があった2例のうち、「死亡前3か月～半年未満」と「死亡前半年以上」がそれぞれ1例ずつであった。

表5-7 児童相談所による最終安全確認の時期

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
死亡前1週間未満	1	14.3%	0	0.0%
死亡前1週間～1か月未満	4	57.1%	0	0.0%
死亡前1か月～3か月未満	1	14.3%	0	0.0%
死亡前3か月～半年未満	0	0.0%	1	50.0%
死亡前半年以上	1	14.3%	1	50.0%
計	7	100%	2	100%

- 児童相談所とその他の関係機関との連携は、判明しているものとみると、心中以外の事例では、「なし」が37例（64.9%）、「あり」が20例（35.1%）であり、連携のあった20例のうち、連携が「よく取れていた」は8例、「まあまあ取れていた」が7例、「あまり取れていなかった」が5例であった。  
 心中事例では、「なし」が35例（89.7%）、「あり」が4例（10.3%）であり、連携のあった4例のうち、連携が「よく取れていた」は3例、「まあまあ取れていた」は1例であった。